

(2) 定款第4条第1項第2号の事業（文化芸術活動に係る人材の育成及び体験機会の提供）

文化芸術ボランティア育成事業や歌舞伎・狂言の鑑賞入門講座、アウトリーチ事業などを継続して実施することにより、文化芸術に関わる人材の育成と啓発を図ります。

また、東日本大震災で傷ついた沿岸部の被災地住民の心のケアを目的としたゴスペルワークショップ、朗読講座や管楽器クリニックを実施します。

(単位：千円)

事業名	事業概要	実施時期・場所	収益見込額	所要経費
文化芸術ボランティア育成事業	内容:鑑賞事業におけるボランティア業務ほか	通年 東京エレクトロンホール宮城	0	219 収支差額 △ 219
芸術銀河 音楽アウトリーチコンサート (県受託・市町村支援型)	内容:市町村と県実行委員会が共催して行うアウトリーチ事業に共催負担金を交付し支援する	通年 県内市町村 小中学校 9市町村程度	3,000 (委 3,000)	2,715 収支差額 285
芸術銀河 音楽アウトリーチコンサート (県受託・財団実施型)	分野:器楽・声楽 出演:(宮城県出身、在住の若手アーティストを予定)	通年 宮城県内学校 10カ所程度 10公演程度	1,500 (委 1,500)	1,290 収支差額 210
県文化振興財団アウトリーチコンサート	分野:器楽・声楽 出演:(宮城県出身、在住の若手アーティストを予定)	通年 宮城県内学校 10カ所程度 10公演程度	0	969 収支差額 △ 969
被災地管楽器クリニック	分野:管楽器 講師:宮城県出身、在住の若手アーティストを予定 内容:被災地の小中学生を対象とした管楽器クリニック及び発表会	平成30年 5月～11月 仙台圏域中学校を予定 (3講座,1公演)	730 (民助 730)	960 収支差額 △ 230 基金の残額を財源
文化庁受託事業 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」	内容:震災により甚大な被害を受けた子どもたちが文化芸術活動に触れて心を潤す事業において、実行委員や芸術家との連絡調整や経理業務を行う(実行委員会業務の一部)	平成30年5月～ 平成31年3月 100件程度	300 (雑 300)	-
朗読講座 (「心の復興」事業)	分野:朗読 内容:沿岸部の被災地住民の心のケアを目的とした朗読講座 講師:渡辺祥子	平成30年 6月～10月 震災被災地域 岩沼市民図書館(予定)他 (9講座+発表会) 計20回	1,622 (助 1,622)	986 収支差額 636 (人件費を除く)
鑑賞入門講座	講師:葛西聖司(歌舞伎) 石田幸雄(狂言) 内容:古典芸能をより深く理解してもらうため、歌舞伎、狂言公演のみどころを改正	歌舞伎 平成30年7月2日(月) 狂言 平成31年2月18日(月) 東京エレクトロンホール宮城 計2回	100 (入 100)	367 収支差額 △ 267

事業名	事業概要	実施時期・場所	収益見込額	所要経費
ゴスペルフェスティバル 実行委員会連携事業 被災地ワークショップ 〔心の復興〕事業)	分野:ゴスペル 内容:沿岸部の被災地住民の心のケアを目的としたゴスペルワークショップ 講師:未定	平成30年 8月～10月 震災被災地域 5回×2地域 計10回	1,067 (助 1,067)	729 収支差額 338 (人件費を除く。)
ジュニアジャズコンサート 〔心の復興〕事業)	分野:ジャズ 内容:県内外のジュニアジャズグループに発表の機会を提供	平成30年 9月9日(日) 東京エレクトロン ホール宮城	2,301 (助 2,301)	2,158 収支差額 143 (人件費を除く。)
心の復興支援事業 (県受託事業)	内容:宮城県文化芸術による心の復興フォーラムの開催及び地域芸能活動の状況等の調査	未定	3,312 (委 3,312)	1,808 収支差額 1,504 (人件費を除く。)
合 計	11事業(21公演, 36講座, その他4)		13,932 (入 100) (助 4,990) (民助 730) (雑 300) (委 7,812)	12,201 収支差額 1,731

※ 入:入場料収益, 助:受取県助成金, 民助:受取民間助成金(芸文復興支援助成金), 委:委託金収益